

令和8年度・都川水の里公園「稲作体験講座」第1回【開校式及び田植え】 5月6日

第1回の活動は、受講者16組45人(大人23人、子ども22人)の皆さんと、秋の豊作を祈ってコンヒカリの苗を植えました。

- 1 当日の天気は曇り、気温は20℃、東南東のそよ風が吹く絶好の田植え日和となりました。開講式の後、ボランティア団体の紹介、田植えの歴史や過去4年間の米の収穫量、高温障害、田植えのやり方や諸注意などについて説明しました。
- 2 受講者は3班に分かれて、3枚の保全水田へ向かいました。各田には、苗を植える位置を示す「縄(なわ)」を張るスタッフ2人、田植えの指導や植え直しを行うスタッフ1人を配置し、受講者による田植え作業のサポートにあたりました。

- 3 各田のスタッフが、田植えのやり方を説明します。

苗束の根元から苗を3、4本むしり取り、親指、人差し指、中指で苗を持ち、代掻きした田面に植えていきます。田面に張った縄の目印に沿って苗を植え付けます。植えた苗が浮き上がらないよう土を寄せてしっかり固定します。

1列植えたら、1歩前進して同様に苗を植えていきます。植え付けた苗を足で踏まないよう気を付けながら、田植えの作業を繰り返します。

本講座ではこれまで「後進式」で行ってきましたが、後進式は「踏み跡を手直すのが小さな子どもに難しく、浮苗が発生しやすかった」ことなどを考慮し、本年は「前進式」を試みました。その結果、植えた苗を足で踏んだり、浮苗になったりすることはほとんどありませんでした。3回目の参加となる受講者からも「前進式の方が楽に田植えができました」との感想をいただきました。



- 4 今年も初めて田植えを体験する方がほとんどでした。最初は慣れない田植え作業にとまどっていた皆さんも回数を重ねるごとに要領をつかみ軽快な手つきになっていきました。また、今回は田植え足袋を履いた人は少なく、ハイソックスやサンダルを履いて田に入る人が多く見られました。初めての試みである前進式での田植えも、混乱もなく順調に進みました。



5 9時30分頃から始めて50分、10時20分頃には全部の田んぼで植え終わりました。



6 ボランティアの方が作ってくれたおやつ草餅（餡子味、黄粉）を美味しくいただき、皆さん笑顔で第1回の田植え作業を終えることができました。

